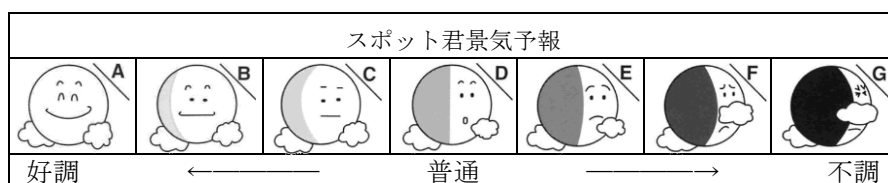


2. 目黒区内中小企業の景況（平成29年1～3月期）

（1）今期の特徴点



製造業



業況は△16.4で前期比3.3ポイント減とやや低調感が強まった。売上額は△16.3で9.1ポイント減、収益は△15.1で7.8ポイント減といずれも大きく低迷し、資金繰りは△10.9で2.5ポイント減とやや窮屈感が強まった。来期の業況は1.8ポイント増の△14.6と厳しさがわずかに和らぐ見込み。

卸売業



業況は△13.8で前期比8.8ポイント減と大きく厳しさが強まった。売上額は△10.0で6.7ポイント減とかなり減少が強まり、収益は△7.8で15.6ポイント減と増加から減少に大きく転じ、資金繰りは△4.2で0.8ポイント増と前期同様の窮屈感が続いた。来期の業況は2.1ポイント増の△11.7と悪化幅がわずかに縮小する見込み。

小売業



業況は△18.5で前期比9.1ポイント減と大きく悪化が強まった。売上額は△9.4で3.9ポイント減とやや減少が強まり、収益は△18.7で6.7ポイント減と大幅に減益が強まり、資金繰りは△13.7で6.2ポイント増と大きく窮屈感が緩和した。来期の業況は3.7ポイント増の△14.8とやや改善する見込み。

サービス業



業況は△11.5で7.9ポイント増と水面下ながら大きく改善し、売上額は△8.3で3.9ポイント増と多少減少が弱まり、収益は△6.0で10.7ポイント増と大きく持ち直し、資金繰りは△4.6で8.3ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。来期の業況は11.1ポイント増の△0.4と厳しさがかなり和らぐ見込み。

建設業



業況は11.9で4.9ポイント減と若干好調感が後退した。売上額は5.6で16.5ポイント減、収益は9.3で7.1ポイント減と、いずれも大きく増加幅が縮小した。資金繰りは△1.4で0.2ポイント増と前期並となった。来期の業況は0.8ポイント増の12.7と今期同様の好調感で推移する見込み。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測

